

昭和四十九年六月招集

第二回館山市議定会定例会會議録第一号

館山市議會

目次

日時	一
場所	一
出席議員	一
欠席議員	一
出席説明員	一
出席事務局職員	二
議事日程	二
開會	三
議長の報告	三
議案の配付	三
会議録署名議員の指名	三
会期の決定	三
提案理由の説明	三
議案第四十九号	五
議案第四十八号	七
報告第一号、議案第四十七号、議案第五十号、議案第六十一号（内容説明）	八
休會	一六
延會	一六
本日の會議に付した事件	一六

一、昭和四十九年六月十二日（水曜日）午前十時

二、館山市役所議場

一、出席議員 二十七名

一 番	吉田 勇治郎	二 番	林 豊
三 番	流山 源次郎	四 番	鈴木 豊
五 番	近藤 好雄	六 番	栗原 一雄
七 番	渡辺 昭夫	八 番	石井 武敏
九 番	辻田 実	一〇 番	渡辺 軍治郎
一 番	山本 昇	一 番	藤田 益治
一 番	五十嵐 昇	二 番	伊賀 多朗
一 番	和田 一郎	三 番	伊賀 多朗
一 番	安西 益男	四 番	井 謹爾
一 番	鈴木 市蔵	五 番	島 野茂樹郎
二 番	西村 真次	六 番	田村 源治郎
二 番	飯田 義男	七 番	安 沢 徳順
二 番	田中 禄郎	八 番	望 月 照正
三 〇 番	速山 ヨネ子	九 番	秋山 六三郎
一、欠席議員 二名			
二 〇 番	君塚 喜三	二 三 番	菊井 敏博
一、出席説明員			
市 長	本間 謙	助 役	畠山 伝
収入 役	高木 哲三	秘書 課長	太田 博雄
人事 課長	小沢 正治	企画 課長	伊藤 幸太郎
庶務 課長	小倉 澄男	財政 課長	長谷川 広治
市民 課長	横溝 功	税務 課長	越路 良夫

収納課長	羽山房雄	商工観光課長	鈴木力
農産課長	石井謀	水産課長	谷貝茂生
保健課長	綱島憲治	衛生課長	館石勘治
土木課長	飯田治男	建築課長	佐野甲子郎
交通防犯課長	山口一	交通防犯課主幹	岩田実
市民センター館長	角田厳	鳩山支配人	野中圭太郎
福祉課所長	斉藤武男	水道課長	大嶋重義
教育課長	安田豊作	兼衛生課主幹	
教育委員会	佐野啓男	庶務課長	汐崎政光
学校給食課長		教育委員会	川上賢爾
教育委員会	佐野哲男	体育課長	
社会教育課長		選挙管理委員会	高山隆男
監査事務局長	榎本繁	書記	
農務局長		農業委員会	岩崎一郎
事務局長	高尾豊	局長補佐	勝田元始
書記	兵藤恭一	書記	鈴木木哲
書記	安西良一	書記	川上義雄
書記	福田英雄		

一、議事日程(第一号)

昭和四十九年六月十二日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

日程第三 議案第四十九号

日程第四 議案第四十八号

館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
昭和四十九年六月に支給する期末手当の特例に関する条例の制定について

日程第五

報告第一号

財団法人館山市開発公社の経営状況説明書の提出について

議案第四十七号

館山市印鑑条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

議案第五十号

館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第五十一号

館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第五十二号

館山市酪農振興事業資金利子補給条例の一部を改正する条例の制定について

議案第五十三号

館山市消防費じゅう金条例の一部を改正する条例の制定について

議案第五十四号

館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について

議案第五十五号

あらたに生じた土地の確認について

議案第五十六号

あらたに生じた土地を市の区域内に編入することについて

議案第五十七号

館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

議案第五十八号

市道路線の変更について

議案第五十九号

参議院議員の通常選挙における投票管理者及び投票立会人の報酬額に関する臨時特例条例の制定について

議案第六十号 損害賠償の額の決定について
議案第六十一号 損害賠償の額の決定について

開 会 午前十時十二分開会

○議長(吉田勇治郎君) 本日の出席議員数二十七名、これより昭和四十九年第二回市議会定例会を開会いたします。

議長 の 報 告

○議長(吉田勇治郎君) この際おはかりいたします。季節も追々炎暑の候となりますので、当分の間略衣により会議を行ないたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よって決しました。

本定例会議案審議のため地方自治法第二百一十一条の規定による出席要求に対し、お手もとに配付のとおり報告がございましたので御了承願います。

なお、監査委員より二月乃至五月実施の監査の結果が報告されております。それぞれお手もとに配付の印刷書により御了承願います。

議 案 の 配 付

○議長(吉田勇治郎君) 議案を配付いたします。

議案の配付漏れはございませんか。― 配付漏れなしと認めます。

本日の会議はお手もとに配付の日程表により行ないます。

会 議 録 署 名 議 員 の 指 名

○議長(吉田勇治郎君) 日程第一、会議録署名議員の指名を行います。

― 一番議員山本 昇君、二番議員田村源治郎君、以上両君を指名いたします。

会 期 の 決 定

○議長(吉田勇治郎君) 日程第二、会期の決定を行ないます。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は、本六月十二日から六月十八日までの七日間とすることあります。

おはかりいたします。会期を七日間と定めますことに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よって会期は六月十二日から六月十八日までの七日間と決定いたしました。

提 案 理 由 の 説 明

○議長(吉田勇治郎君) この際、本定例会招集につき市長のあいさつ並びに提案理由の説明を求めます。

(市長本間 譲君登壇)

○市長(本間 譲君) ただいまからあいさつ並びに提案理由の説明を申し上げます。

本日、六月市議会定例会を招集し、当面する諸案件について御

審議をお願いいたすわけですが、その前に一言お祝いのことを申し上げます。

ただいま千葉県市議会議長会、関東市議会議長会並びに全国市議会議長会から、田中議員さん、山本議員さん、飯田議員さん、遠山議員さんが永年勤続表彰の光栄に浴され、また吉田議長さんには全国市議会議長会の国会対策委員として御尽力された功績に対する感謝状がそれぞれ伝達されましたことはまことに光栄と存する次第であります。ここに改めてお祝いを申し上げますとともに、今後とも市政進展のためよろしく御支援と御協力をたまわりますようお願い申し上げます。

さて、本日提案しました案件は報告関係一件、一般議案十五件であります。その概要につきまして御説明申し上げます。

まず報告といたしましては、財団法人館山市開発公社の経営指導状況について報告するものであります。

次に一般議案といたしまして、印鑑条例の一部を改正する条例の専決処分承認であります。委任状を代理人選任届けに変更することにより、一日も早く住民負担の軽減をはかるため、六月一日から実施すべく急換五月三十一日に専決処分をいたしましたので御承認をお願いいたす次第であります。

次に国民健康保険税条例の一部改正であります。本年三月予算議会におきまして国保税の四八・二％程度の引き上げと、六月算定時において極力引き下げをはかることを御説明申し上げましたが、医療費の高騰、高額療養費等の関係から四四・二％の引き上げをせざるを得ないとの結果により、そのための改正及び地方税法の改正に伴う低所得者に対する国保税の軽減措置等条例の改

正をしようとするものであります。

次に職員給与条例の一部改正であります。人事院の三月十八日の教員の給与改定勧告並びに五月三十日の一〇％アップ勧告に伴う条例の改正であります。

次に廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正であります。が、物価の上昇等諸般の事情からし尿収集手数料について改正をはかるものであります。

次に消防賞じゅう金条例の一部改正であります。国においては最近における経済事情の推移等にかんがみ消防団員に対する賞じゅう金の額について引き上げるとともに、市町村においても引き上げるよう指示がありましたので、消防庁で示した条例準則に従って改正しようとするものであります。

次にあらたに生じた土地の確認について及びあらたに生じた土地を市の区域内に編入することについてであります。去る三月定例会において船形、富崎漁港等にかかる公有水面埋め立て追認について議会として答申したところ、このたび県の管理漁港について竣工認可がありましたので、この土地の確認及び本市の区域内に編入しようとするものであります。

このほか本年六月に支給する期末手当の特例条例、根岸公園の完成に伴う都市公園条例の一部改正、西岬公民館の位置の変更に伴う公民館条例の一部改正、酪農振興事業資金の貸し付け利率の引き上げに伴う利子補給金の改定関係としての一部改正、参議院議員選挙の投票時間延長に伴う投票管理者及び立会人の報酬額に関する特例条例、市道改修に伴う市道路線の変更、市の自動車による交通事故の損害賠償の額の決定などがあります。

以上今回提出いたしました議案について御説明を終わりますが、詳細につきましては関係課長等をして説明をいたさせますので、十分なる御審議をたまわりますようお願い申し上げます。

なお、追加といしまして、昨晚のラジオ放送で国民宿舍の料金を七月から値上げするという放送がありましたので、鳩山荘もそれに属するものでございますので、鳩山荘の宿泊料金の引き上げについても追加議案として提案いたしたいと存じますので、お含みおきを願ひまして御検討をたまわりたいと存ずる次第でございます。よろしくどうぞ。

○議長（吉田勇治郎君） 以上で市長のあいさつ並びに説明を終わります。

議案の上程

○議長（吉田勇治郎君） 日程第三、議案第四十九号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

朗読を願ひます。

（書記朗読）

議案第四十九号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について

議案の内容説明

○議長（吉田勇治郎君） 説明を求めます。

○人事課長（小沢正治君） 議案第四十九号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について御説明申し上げます。

今回の改正関係は二つの要素がございます。第一点は去る二月二十五日に法律第二号をもって公布された学校教育の水準の維持向上のための義務教育諸学校の教育職員の人材確保に関する特別措置法という非常に長い法律でございますが、これを略して人材確保法さらに人確法と呼んでいるわけでございますが、この法律の制定に伴いまして三月十八日にこれら義務教育諸学校の教員の給与について特別な改定の人事院勧告が出されたわけでございます。これによって国家公務員の一般職給与一部改正法が三月二十七日に成立いたしました。即日公布、四十九年の一月一日にさかのぼってこれらの教員関係の給与が引き上げられたこととなつたわけでございますが、これに伴いまして公立学校の教員等についても国家公務員に準じて条例改正上所要の措置を講ずるよう指示が出されたわけでございます。その中で幼稚園の教諭等につきましましてはいわゆる人確法の適用は受けない上に、全国各市町村におけるこれらの教員の給与の取り扱いが非常にまちまちであるために、その改正にあたっては他との均衡を十分考慮して、特に慎重に配慮するよう合わせて要請がなされております。その趣旨を体しまして改正する部分が第一点でございます。

第二点といましては、去る五月三十日に職員の給与の暫定措置について人事院勧告が出されまして、これに基づく一般職の給与法が改正され、去る六月四日法律第七十四号をもって施行されたことによりまして、市町村職員についてもこれにならつて条例改正を行なうよう指示が出されたための改正であります。

以上の二点が今回の改正の骨子でございます。具体的に条例の内容について申し上げますと、まず第一点の「別

表第二を次のように改める」。これが幼稚園の教諭等に適用される給料表でありまして、国家公務員に適用される給料表そのものの表でございますが、当市でまったく使用されない部分の一部省略をしてございます。給料表をこのように改正するものでございます。

次に「附則に次の一項を加える。」といたしましたして、第六項を新設する規定でございますけれども、これは給料表のそれぞれの各旧号の月額はいずれも百分の百十を乗じた額、すなわち一割増しの金額とするという改正でございます、これらの改正はいずれも本年四月一日にさかのぼって適用するというのがこの改正条例の附則の施行期日の規定の第一項の規定でございます。

附則の第二項といたしまして、これは幼稚園の教諭等について今回改正給料表に切りかえる場合の措置はそれぞれの旧号の一部を下位の号給に移行するという規定でございます。これは当市にあっては一般行政職との比較において教員の優遇措置がなされていた関係から、現行の号給をそのまま新給料表に移行いたしますと人事院勧告に示された行政職との格差をさらに大きく開いてまいります関係と、それから現在の市の幼稚園の給料が県下の最高に位置しているというような観点から適正な調整措置としてこのように取り扱うという規定でございます。

それから附則第三項の規定は昇給期間の通算規定でございます。それで第四項が給料額がさかのぼって引き上げられてまいります関係上、現在までに支給されてきた給与は改正された給料のそれぞれ内払いとみなす旨の規定でございます。

簡単でございますが、説明を終わります。

質疑応答

〇一〇番（渡辺軍治郎君） ただいまの説明で一〇%の給料のアップになるというふうに承ったんですが、新聞やなんかで見たところ物価上昇というようなことを考えて一〇%の前払いといいますが、給与の前払いというふうに聞いておるんですが、これは法改正が結局一〇%アップするということふうに解釈していいのかどうか。

〇人事課長（小沢正治君） 趣旨は一〇%の前払いという形になるという面もそういうことでございますし、四月にさかのぼって一〇%のアップであるということにもなるわけでございますが、これは考え方といたしましては例年八月の半ばに至りまして、民間の給与の実態を調査した人事院がそれぞれ国家公務員に対して勧告を行なってきたところですが、その幅がことしは相当大きくなるというふうな予想からその中の一〇%程度を、現在の物価情勢の中で正規の勧告を待ってられないので早目に支給してくるようにと労働者側の要請も受けてこのような改正をするというふうになっておるわけでございます。したがって正規の改正が早めて八月勧告を七月に行なうという事例はございますがその前に四月にさかのぼって一〇%上乗せて支給するということがございます。

〇一〇番（渡辺軍治郎君） そうしますと、春闘で一般労働者の給料が二万七千円くらいは平均して上がっていると思うんですが、この改定はいまの話ですと大体八月ごろになるんじゃないか。そういうふうな受け取ったわけですが、それとの関連でもしそういう人事院勧告による給与のアップがあった場合にこの一〇%とい

うのはその中の一〇％というふうに考えられますかどうか。

○ 人事課長（小沢正治君） 七月乃至八月の人事院勧告があつてさらにこの幅を大きく改善するという形になりました場合には、今ここで一〇％上乗せで支給する額はその内払いという解釈になつてまいります。

○ 議長（吉田勇治郎君） 他に御質疑ございませんか。――御質疑なしと認めます。

委員会付託の省略

○ 議長（吉田勇治郎君） おはかりいたします。本案を委員会付託並びに討論を省略いたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○ 議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。

採決

○ 議長（吉田勇治郎君） 採決いたします。本案を原案どおり可決するに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○ 議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よつて本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

○ 議長（吉田勇治郎君） 日程第四、議案第四十八号昭和四十九年六月に支給する期末手当の特例に関する条例の制定についてを議

題いたします。

朗読を願います。

（書記朗読）

議案第四十八号 昭和四十九年六月に支給する期末手当の特例に関する条例の制定について

議案の内容説明

○ 議長（吉田勇治郎君） 説明を求めます。

○ 人事課長（小沢正治君） 議案第四十八号について御説明申し上げます。ただいま朗読になった内容のとおりそれぞれ期末手当を支給すべき対象者に対して、いわゆる二・六カ月分を支給しようとするものでございます。以上でございます。

質疑応答

○ 議長（吉田勇治郎君） 御質疑願います。

○ 一〇番（渡辺軍治郎君） これは職員と常勤特別職と非常勤特別職と一緒にした議案になっているんですが、私はついても言うんですが常勤と非常勤では勤務の内容に相当大きな違いがあると思うんです。一般職員や常勤特別職については私はある程度考慮しなくちゃいけないと思うんですが、議員の場合は常勤職と違っているという特性から一般職と同じように取り扱うのは問題ではないか、ずっと以前からこのように考えてきているわけです。ですから一般職については問題はありませんが、議員と一般職と同じように取り扱うということは問題があるので、その点についてどういふふうに考えておられるのかお伺いしたいと思います。

○助役（畠山 伝君） 議員さん方につきましては別にというふうなお話でございますけれども、議員さん方に非常に市行政のために御尽力いただいておりますので、いまままでおり同一議案で同率でお願い申し上げたい、かように考えましてお願い申し上げます。いわけでございます。

○議長（吉田勇治郎君） 他に御質疑ございませんか。― 御質疑なしと認めます。

委員会付託の省略

○議長（吉田勇治郎君） おはかりいたします。本案を委員会付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。

討 論

○議長（吉田勇治郎君） 討論に入ります。

○一〇番（渡辺軍治郎君） 私はこの条例改正案について反対するわけですが、反対といっても議員の期末手当の増額については質問の中で明らかにしたように一般職員とは違うということで、一般職員や常勤職員の期末手当の増額については賛成できますが、ただいまの答弁では議員はいろいろ骨をおつていただくからという単なる抽象的な答弁でありますし、常勤職員とは内容が非常に違うわけで、それを一律に同じように期末手当の増額を扱うということについては納得できませんので反対いたします。ですから五条の議員の期末手当の増額については反対であります。

賛成と反対と一つの議案にあるんで非常に困るわけなんです。以上私は採決には加わらないということで退場いたします。

○議長（吉田勇治郎君） 他に討論ございませんか。― 討論なしと認めます。

採 決

○議長（吉田勇治郎君） これより採決いたします。本案を原案どおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって本案は原案どおり可決されました。

暫時休憩いたします。

午前十時五十分 休 憩

午前十一時十二分 再 開

○議長（吉田勇治郎君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議 案 の 上 程

○議長（吉田勇治郎君） 日程第五、報告第一号、議案第四十七号及び議案第五十号乃至議案第六十一号を一括して議題といたします。

議案の内容説明

○議長（吉田勇治郎君） おはかりいたします。ただいま議題となりました各案件は、本日はこれが内容説明のみといたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって決しました。

この際おはかりいたします。ただいま議題となりました各案件は、朗読を省略して直ちにこれが内容説明を求めたいと思います。が、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって決しました。

これより順次説明を求めます。

報告第一号 財団法人館山市開発公社の経営状況説明書の提出について

○企画課長（伊藤幸太郎君） 報告第一号について御説明申し上げます。

本件は四十八年度におきますところの財団法人館山市開発公社の事業の経営内容でございますが、この資料といたしまして決算書とそれから四十九年度の公社の事業計画書、さらに資金計画書をお手もとにお配りしてあると思いますが、それによりまして御説明申し上げたいと思います。

まず四十八年度におきますところの公社の決算内容でございますけれども、その前にページにございますが、四十八年度におきますところの事業報告がございます。ここに記載してございすところでありまして御了解いただきたいと思います。特に申し上げる点はございません。ひとつ御了承いただきたいと思います。

それから決算内容でございますが、八ページをひとつお開きいただきたいと思います。四十八年度の決算の結果当期末の剰余金がこのにございますとおり三千七百六十二万四千四百二十八円と相なりました。したがって前期すなわち四十七年度からの繰越分二千九百九十二万四千九百二円、合計いたしました六千七百五十五万三千三百三十円、以上が当期末におきますところの公社の剰余金額でございます。

したがって、この剰余金は次期の四十九年度へ繰り越したいということで決算いたしました。

なお、この決算にあたりましてはここにもございますとおり、五月の二十一日に監事の監査を行ないまして御了承いただいておりますので、合わせて御了承いただきたいと思います。

まことに簡単でございますけれども、決算内容につきまして以上御報告申し上げます。

次に四十九年度におきますところの公社の事業計画でございます。四十九年度の公社事業といたしましては、新規分といたしましてはここにございますとおり渚用地の取得事業これ一本でございます。この面積もごくわずかでございますが、いろいろの情勢から約四百十三坪程度の用地の取得を計画いたしました。これは渚の町内会の青年館の用地が主でございます。その要請がございすので町内会の希望されます場所を含めまして都合四百十三坪程度の用地取得をいたしたいというものでございます。

以下は全部継続分でございます。新しい事業としては別にございせん。いろいろと資金繰りの関係等を考慮いたしまして、四十九年度におきましては継続分の事業ということで考えたわけ

でございます。

次に資金計画でございますが、次にとじてございますけれども以上申し上げた事業計画に基づきますところの資金計画を立てたわけでございますけれども、収入の合計を五億七千七百万余り一応予定いたしました。それから支出の合計を五億六千八百二十万九千円ということで予定いたしました。五十年度への現金繰越を九百万余を計画いたしましたわけでございます。

それから公社の特別会計といたしましてブルドーザーの会計でございますが、これも最後にとじてございますけれども、収入はここでございますとおり六百一十五千円を予定いたしました。百三十六万四千円は支出の部でございます。給与費とそれから諸経費を合計いたしましたのでございます。その差額の現金の繰越額を四百万余を計画いたしましたわけでございます。

以上が四十八年度の公社の決算内容と四十九年度におきます公社の事業計画等でございますので御了承いただきたいと思います。議案第四十七号 館山市印鑑条例の一部を改正する条例の専決

処分の承認について

○市民課長（横溝 功君） 議案四十七号について御説明申し上げます。

第十四条二項中委任状を証する書面に改めたわけでございます。二項はいままで印鑑届とか改印届とか印鑑証明の受領は本人が都合が悪くてこれない場合は代理人が委任状を持ってくれればよいということでございましたが、今回委任状ということにとられず、委任を証する書面の届け出があればできるということとがわかりましたので、このように委任を証する書面というふう

に改めたわけでございます。委任を証する書面ということでございますから委任状も含まれず、民法でいいます代理規定による代理人選任届とか、あるいは代理権限授与通知書というのものももちろん含まれるわけでございます。

今回委任状にかえまして代理人選任届というふうに規則もなおしました。この代理人選任届は市長に対する届でございます。要するに代理権を授与したことを届けるものでございます。委任状のほうは代理権があったことを受任者が直接証明されるものでございます。委任状と代理人選任届とは異なるわけでございます。委任状のほうは印紙がこの五月一日から五十円になったわけでございます。代理人選任届は市長に対する届でございますので印紙は要らないということになるわけでございます。

当初は本条例の改正につきまして定例市議会にかけるべく準備しておりましたが、近隣市町村のほとんどがこの六月一日をもちまして施行するという状況でございますし、市民の負担軽減ということもございましたので、ここに六月一日施行ということで議會を開くいとまもございませんでしたので専決処分いたしましたのでございます。何とぞよろしく御承認のほどをお願いいたします。

議案第五十号 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○衛生課長（館石勸治君） 議案第五十号の御説明を申し上げます。本条例の一部を改正するお願いでございますけれども、これは市の収集手数料を改定していただくという案件でございます。別表第一の金額欄中、八十円を百円に、これは一般家庭一人につき一カ月現在八十円でございますが、これを百円に。それか

ら四十円を五十円にということは一般家庭以外で旅館、映画館、病院、工場等不特定多数の人の入る、いわゆる従量制でございます。これを四十円を五十円に改めていただきたいというものでございます。

議案第五十一号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する

条例の制定について

保健課長（網島憲治君） 議案第五十一号に関連をいたしまして私のほうから概括的な説明を申し上げます。

当初予算審議の際に申し上げましたが、三月中に中医協からスライド制導入ということに関しまして答申がある予定で進んでおりました。その答申並びに四十九年度の二百三十億の財源配分につきまして判明する予定で作業を進めておりましたけれども、中医協は御案内のように三月二十七日に会議を開きましたが、その席上では答申の案件に触れることなく三者でもの別れに終わった状況でございます。その後一回も開かれておりません。こういつて五月十四日参院社労委員会におきまして厚生省は参院選後並びに人事院勧告が決定をし、さらに公共料金の決定と相まって九月諮問、十月実施ということを示唆しております。それから六月七日、八日に日本医師会、歯科医師会、薬剤師会、三師会と申しておりますが、これが大会を開きまして医療費再値上げの具体的な案を示し、さらに中医協の改組を要求しております。その席上に出席しました自民党の幹事長代理はその用意があることをほのめかしております。したがって医療費の再値上げは現時点では具体的に判明しておりません。しかしその要求されたものを私も試算をしますと四十九年度予算に組み込まれました医療費一〇%の再値

上げというものをはるかにこえる金額でございます。一方四月に発足いたしました高額医療費が三月時点におきますとかなりな変動をみておりますし、いわゆる二百三十億の臨時財政調整交付金の配分方法も決定いたしておりますが、もし仮にこれが平均的に配分された場合におきましてその財源見合いをさらに上回るであろうというような関係に私ども判断いたしております。それで当初予算に御約束申し上げましたできる限りの保険税の減額につきましては四十八年度決算見込みにおきまして約百四十二万余円の黒字でございます。それと四十八年度の療養費国庫補助金の未交付額七百二十六万円余でございますが、計八百七十四万円を減税に引き充てるような現状に相なつたわけでございます。その結果一世帯当たり平均いたしまして保険税は三万五千八百二十八円、当初予算より金額にいたしまして約九百九十一円、率にいたしまして四%、昨年度対比四四・二%の上昇率となります。そのほかに法改正による改正部分並びに減額分によりますそういう関連した条例改正でございます。その内容につきましては税務課長のほうから御説明申し上げます。よろしく御審議いただきますようお願いします。

税務課長（越路良夫君） それでは議案第五十一号の国民健康保険税条例の一部改正について御説明申し上げます。

本案は本年三月に地方税法の一部改正がございまして、その改正に伴う改正部分。それからただいま保健課長より申し上げましたように課税すべき額が確定いたしましたのでそれに伴う課税案分率の改正、なお低所得者に対する軽減額の引き上げ、これら等を行なおうとするものでございます。

第二条の改正でございますが、これは国民健康保険税の課税限度額を法改正によりまして八万円から十二万円に改めようとするものでございます。

次に第三条から第五条の二までにつきましては、所得割りの案分率を百分の百六十四に、資産割りを百分の五十八に、被保険者均等割りを四千二百六十円、なお世帯別の平等割りを六千八百四十円にそれぞれ改めるものでございますが、案分率の算出につきましては別紙でお配りしてございますが、昭和四十九年度の国民健康保険税案分率算出資料これによって申し上げたいと思います。課税の配分割合によりましては納税義務者中、低所得者の層に対する負担軽減というものを考慮いたしまして応能分につきまして比重をかける、前年度に對しまして三%増ということで配分をいたしてございます。

そこでこの表の配分割合でございますが、所得割りを前年度より三%増としまして四五%、資産割りは前年度と同じく一五%、非保険者均等割りはこれは二%減としまして二六%、世帯別の平等割りは前年度の一%減といたしまして一四%、これによりまして応能、応益という面であらえますと六十対四十、このように配分し、配分額を見込んだものでございます。案分の基準といたしましてその右にそれぞれ掲げてございますが、これらの数字を積み上げて配分額に対する率を求めたものでございます。その結果所得割りから世帯別平等割りまでそれぞれの案分率を得たものでございます。この表につきましてはこれで終りまして、恐縮ですが改正条例のほうを御覧いただきたいと思います。

次の第十一条の改正でございますが、これはみなす世帯主、と

申しますのは、世帯主が被保険者でない場合その世帯内に被保険者がいた場合に、その世帯主を仮に被保険者とみなしまして課税するという制度でございます。この場合世帯主に対する税の軽減方法といたしまして、法改正に伴いまして従前の軽減方法に加えて資産割りを軽減できるというように今回改めるものでございます。その結果従前からございますものに加えて世帯主の均等割り全額と所得割りプラス資産割りの一定割合がみなす世帯主に対しては軽減されるということに相なるわけでございます。

次に十二条でございますが、本案は低所得者に対する減額を定めておりまして、一項該当につきましては均等割り一人について千七百円、平等割り二千八百十円、これを改めるものでございます。なお二号該当につきましては均等割り一人千三百十円、それと平等割り千八百八十円、これを減額するように改めるものでございます。

減額世帯に、本年度の場合一号該当は所得総額が十八万円以下これをさすわけでございまして、二号該当につきましては所得総額十八万円に世帯主を除いた被保険者一人に対して十一万円これを合算した額、これ以下の世帯が対象となるわけでございます。十一万円の加算額につきましては本年の政令の改正によりまして十万円を十一万円に改めておりますので、この条におきましても増額するものでございます。

なお、十二条の改正についての減額対象及び世帯、それから減額する額の算出は、先ほど御説明申し上げました案分率の算出資料の下欄のほうに計算してございますので、御覧いただければけっこうだと思えます。

それから次に附則第一項から次のページ附則第四項まで、この四つの項につきましては現行の各項に見出しを付けるという改正のみでございます。

次に附則に二つの項を加える点につきましては、五項及び六項とも低所得者に対する減額対象の基礎となります所得総額、この所得総額の算出にあつたの特例を定めたものでございます。第五項におきましてはみなし法人課税の適用はないということを規定いたし、第六項におきまして土地の譲渡にかかわる重課税制度がことしの四月から適用されるわけですが、この適用に伴いまして分離課税方式がとられるわけでございます。そこで国民健康保険税の所得の総額にあたりましてこの分離された当該山林等の譲渡にかかる所得を加えまして、これらのみなし法人課税にかかる所得とあるいは山林譲渡等にかかる所得、これらの均衡をはかるうという趣旨による。これはやはり本法の改正でございますのでこの条例におきましてこのように改めようとするものでございます。

なお、この条例の三項におきましてみなし法人課税の特例がここに掲げてございますが、先ほどの第五項における五十年からとあるのは四十九年度とするというのは、いわゆる法律においてこのように制定し、実際にみなし法人課税によって事業主報酬制度ですか、その制度の適用を受けた者との均衡上このように改めるものでございます。以上で本案につきましての説明を終わります。

議案第五十二号 館山市酪農振興事業資金利子補給条例の一部を改正する条例の制定について

○農産課長（石井 謙君） 議案第五十二号の館山市酪農振興事業

資金利子補給条例の一部の改正につきまして御説明申し上げます。この事業につきましては乳牛酪農家奨励のために乳牛の導入として、あるいは畜舎改善、あるいは酪農機械器具の購入、そうしたものに對して利子補給を市が行なっておるわけでございます。基本金利が八・五％であつたわけでございますが、これは農協からの要請に基づきまして九・五％にしたいということでございますので、いままでも五％利子補給いたしておりましたものを六％に改正をお願いしたいということでございます。

議案第五十三号 館山市消防費じゅう金条例の一部を改正する条例の制定について

○交通防犯課主幹（岩田 実君） 議案第五十三号について御説明申し上げます。

市長の先ほどの提案理由の説明にもございましたように現在の経済の情勢を反映いたしましてここに改正をお願いする次第でございます。

第三条を改正いたすわけでございますが、この一の殉職者賞じゅう金でございますが、従来のは金額が最高五百万円ということに相なつておつたわけでございます。これを二百五十万円以上一千万円以下というように改正したいと思ひます。

なお従来のものにありましては、殉職者の場合功勞の程度を四段階に分かちまして按群の功勞であるとか顕著な功勞、多大な功勞であるとかというふうに四段階に分けておりましたが、これを削除いたしまして功勞の程度というふうに広い範圍にしたわけでございます。

それに加えてまして親族の状況によりまして若干の加算があつた

わけでございますが、賞じゅう金の性格上これを削除した次第でございます。

それから二の障害者賞じゅう金の場合でございますが、これも従前は五百万円以下というふうに上限が五百万でございましたがこれを八百五十万円以下というふうに改めた次第でございます。

なお、障害者の場合も従来は功労の程度を三段階に分けておりましたが、これを単に功労の程度というふうに段階を排除いたしました。また、扶養親族の状況というのもこれも加算をなくしたわけでございます。

それから別表第一として先ほど申し上げましたように、賞じゅう金をそれぞれ四段階に分けてあったものがこれをなくしまして単に二百五十万以上一千万以下というふうに一で定めた次第でございます。

次のページが別表でございます。障害の等級に應じまして一級から八級まで分かちまして、この障害の程度に應じてここにうたったような金額を支給する。なお加えまして功労の程度も合わせまして決定する。このようにお願いする次第でございます。

簡単にございますが、よろしく御審議のほどお願いいたします。

議案第五十四号 館山市公民館条例の一部を改正する条例の制

定について

〇社会教育課長（佐野哲男君） 議案第五十四号について御説明申し上げます。

これは館山市公民館条例の一部を改正する条例でございます。西岬分館の位置が従来の位置と変更になりますので、位置の変更につきましてお願いしたいということでございます。よろしくお

願いたします。

議案第五十五号 あらたに生じた土地の確認について

議案第五十六号 あらたに生じた土地を市の区域内に編入する

ことについて

〇庶務課長（小倉澄男君） 議案第五十五号と第五十六号を一緒に御説明申し上げたいと思います。

これは三月の定例会におきまして公有水面埋め立ての追認の御承認をお願いいたしました県関係五件、市関係五件、計十件のうち県の五件のうちの三件が竣工した旨の届け出がありまして知事がこれを了しましたので、知事が三件につきましてそれぞれ自治法に規定いたしております五十五号あらたに生じた土地の確認、並びに五十六号あらたに生じた土地を市の区域内に編入するということについて議会の御承認をいただいてもらいたいという要請がございましたのでここに提案したわけでございます。図面が添付されておるわけでございます。よろしく承認のほどをお願いしたいと思います。

議案第五十七号 館山市都市公園条例の一部を改正する条例の

制定について

議案第五十八号 市道路線の変更について

〇土木課長（飯田治男君） 議案第五十七号館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について御説明申し上げます。

四十八年度事業で実施いたしました根岸公園が三月末に完成いたしましたので、別表第一に根岸公園を追加いたしました。今後館山市都市公園条例により維持管理をしてまいりたいということでございます。

次に議案第五十八号市道路線の変更について御説明申し上げます。四十八年度事業で実施いたしました道路の拡張工事並びに橋梁のかけかえ工事等によりまして路線の変更をいたそうとするものでございます。よろしく願います。

議案第五十九号 参議院議員の通常選挙における投票管理者及び投票立会人の報酬額に関する臨時特例条例の制定について

○選挙管理委員会書記長（高山隆男君） 議案第五十九号について御説明いたします。

参議院議員の通常選挙は六月十四日に公示され、七月七日に投票される予定であります。今回の参議院議員選挙に限り投票時間が一時間繰り延べられることになりました。これは臨時特例法律第七十三号をもって六月三日に公布されました。これに伴いまして投票管理者、投票立会人の費用弁償につきまして自治大臣と大蔵大臣が協議する額を加算するというふうにされたわけでございますけれども、現時点でこの額が示されておりませんのでこのような形で特例をお願いする次第でございます。

議案第六十号 損害賠償の額の決定について

議案第六十一号 損害賠償の額の決定について

○衛生課長（館石勘治君） 議案第六十号の御説明を申し上げます。

損害賠償額の決定についてでございますけれども、これはごみ収集車の事故でございます。昭和四十八年八月十四日の十時五十分頃、ちょうど那古の藤の木の日石のガソリンスタンド前で、市の運転手は飯田実という運転手でございます。これが二歳になる子供が急に道路のほうに出てまいりましたので、ゆるいスピード

で走っていったのですが子供と接触いたしましたして、後頭部に約一週間のケガを負わせたという事故でございます。相手の子供は大阪の人でありまして、親がこちらのほうの親戚のうちへ連れてきてあったのでございます。それでその親戚者であるところの三幣政二さんと四十八年八月三十一日に示談が整いましたので、二万五千三百六十円の賠償金額で今回これをお願いしたわけでございます。

それから次の六十一号でございますが、この案件も実はごみ収集車が九月の十九日に渚で北条小学校一年生の恵木康杜君という男の子に対する事故でございます。この事故が約二メートルちょっと道路幅で二トン車がすれすれに入るといふような道路だったんでございますが、この子供が自転車であつてきてすれ違ひまして、うしろのタイヤですれ違ひましたところで、運転手のほうはガチャンとする音がしたということで大急ぎで停車したところが子供がうしろでひかれていたという事故でございます。早速伊賀病院さんに連れてお願いしましたところ約二カ月間の治療を要すというふうな御診断をいただきましたが、本年四月十八日に示談が六十八万九千七百六十九円という金額で成立をいたしましたのでよろしくお願いしたい、こう思っております。

なお、八月、九月と引き続きまして事故を起こしてしまい、私たちとしまして現場職員に十分注意してやるようにということも重ね重ね注意してまいりましたので、今後これらの事故を起こさないようにしていきたいと思っておりますのでよろしく願ひしたいと思います。

○議長（吉田勇治郎君） 以上で各議案の説明は終わります。

休 会

○議長（吉田勇治郎君） おはかりいたします。議案審査のため明六月十三日は休会したいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって明六月十三日は休会することに決しました。

延 会 午前十一時五十分延会

○議長（吉田勇治郎君） 本日の会議はこれにて延会いたしたいと思えます。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって本日はこれにて延会することに決しました。

次会は六月十四日午前十時開会いたします。その議事は通告による行政一般通告質問いたします。

○本日の会議に付した事件

一、会議録署名議員の指名

二、会期の決定

一、議案第四十八号、議案第四十九号

一、報告第一号、議案第四十七号、議案第五十号乃至議案第六十一号

一、休会

